

教会生活

「神の家族として 歩もう」

エペソ人への手紙 2章 キリストのからだ

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. キリストにあって選ばれた者たち 1章

II. 新しい一人の人 2章

III. まとめと適用

神の家族の新しい関係性のただ中で

エペソ人への手紙とは？

- 著者 …使徒パウロ
- 宛先 …エペソ教会
第三次伝道旅行で3年滞在
伝道旅行で最大の成果を上げる
- 執筆時期・場所 …ローマの獄中
- 目的 …教会の存在意義と使命を教える
 - ・ 普遍的教会の建て上げ
 - ・ 教理の確認と実践



教会とは？

- 誕生 …イエスの復活から50日後の^{ペンテコステ}五旬祭
- 意味 …エクレシア = “集まり、集会”
福音を信じたユダヤ人と異邦人の集い。
- 成長 …福音を信じた人が加えられる度に。
個々が御言葉を学び、使命に遣わされて。
- 完成 …生きている信者も死んだ信者も皆、
主イエスのもとにあげられる。➡携挙



エペソの遺跡

普遍的教会と地域教会

① 普遍的教会

- 組織 …一つだけ。目には見えない。
- 構成員 …福音を信じた真実の信仰者。
(教会時代に信じたすべての人)
- 目的 …一つのキリストのからだを形成。

② 地域教会

- 組織 …教派、教団、教会、集会、様々。
- 構成員 …それぞれに集っている人々
真の信者と偽の信者が混在。
- 目的 …教理の実践、信者の交わり。



エペソの遺跡



I. キリストにあって選ばれた者たち エペソ1章

エペソの遺跡

神の選び

天地創造前から エペソ1:4

すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方において私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。

- 全知全能の神が天地創造以前に決められた。
- 福音を信じて救われた。
 - 尊い器としての一方的な選びの恵み
- 信じないよう定められた者もいる？
 - 人間には誰がそうかなど分からない。

すべては神の栄光のため エペソ1:6





神の選びの原則

【ローマ人への手紙 9:21】

陶器師は同じ土のかたまりから、あるものは尊いことに用いる器に、別のものは普通の器*に作る権利を持っていないのでしょうか。

*「卑しい器(口語訳)」

「つまらないこと(第三版)」

「貴いこと(新共同訳)」

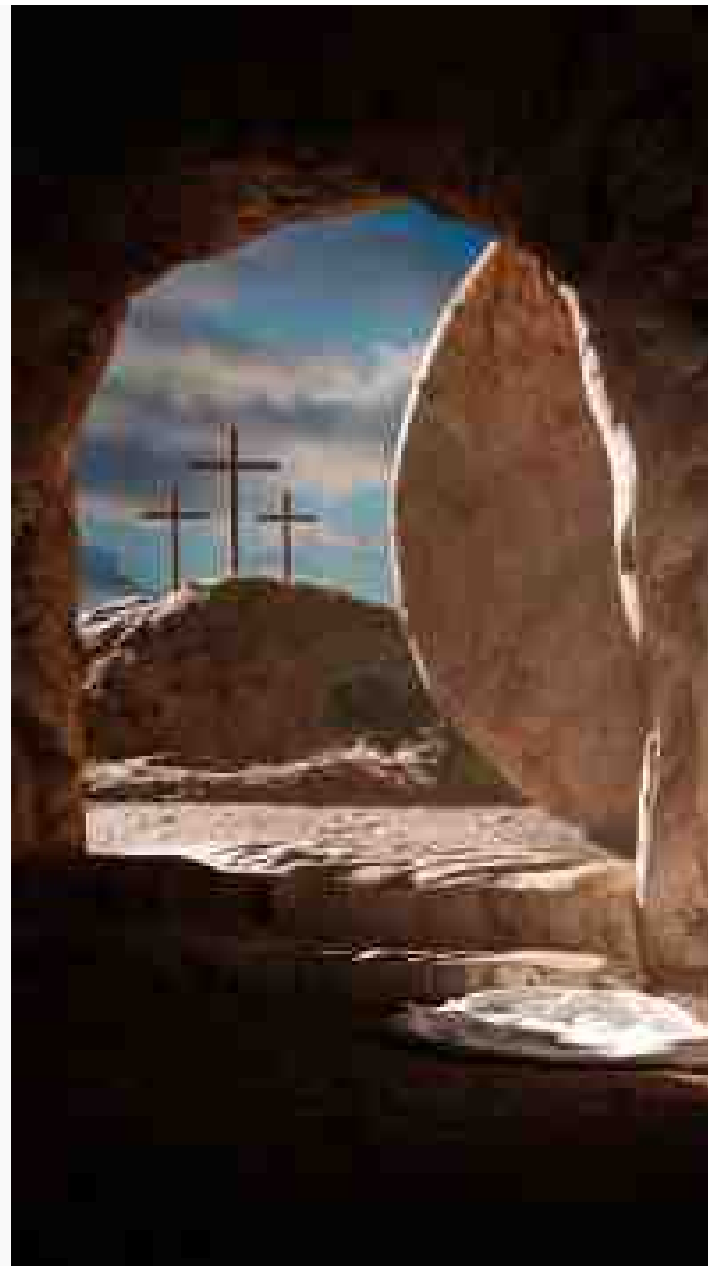
メシアの血による贖い エペソ1:7

このキリストにあって、私たちはその血による贖い、背きの罪の赦し*を受けています。これは神の豊かな恵み*によることです。

■キリストの十字架の贖いの死、葬り、復活*の福音を信じるなら、恵み*によって救われる。

→ユダヤ人も異邦人も(奥義)

「1:10 時が満ちて計画が実行に移され、天にあるものも地にあるものも、一切のものが、キリストにあって、一つに集められる」



福音を信じて与えられた恵み

■ 罪の贖い(1:7)

…神の怒りから救われた。

■ 奥義(1:10)

…ユダヤ人も異邦人も信じて救われる。

■ 神の国の相続者(1:11)

…神の国を主イエスと共に受け継ぐ。

■ 聖霊による証印(1:13)

…永遠に神の所有とされた。



すべては神の
栄光のため!!

全権を持つキリスト

エペソ1:20~21

この大能の力を神はキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ、天上でご自分の右の座*に着かせて、すべての支配、権威、権力、主権の上に*、また、今の世だけでなく、次に来る世においても*、となえられるすべての名の上に置かれました。

- キリストは、神の権威すべて*を持っている。今の教会時代も、来たるべき神の王国でも、すべてのものを永遠に*支配される。



キリストのからだなる教会 エペソ1:22～23

また、神はすべてのものをキリストの足の下に従わせ、キリストを、すべてのものの上に立つかしらとして教会に与えられました。

教会はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです。

- キリストのからだなる教会 = 普遍的教会
- 普遍的教会には、主ご自身が満ちておられる
 - ➔ 異質な存在が入り込むすきなど微塵もない!!





Ⅱ. 新しい一人の人 エペソ人への手紙 2章

エペソ(再現図)

勧め 空中の支配者 エペソ2:1～2

さて、あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり、かつては、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者*、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊*に従って歩んでいました。

*サタン(悪魔)

■ エペソは、女神アルテミスが祀られる神殿でその名を知られていた。



エペソのアルテミス神殿

勧め 御怒りを受けるべき子ら エペソ2:3

私たちもみな、不従順の子ら*の中にあって、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子ら*でした。

*すべての人は生まれながらの罪人

→神と断絶し、滅びに向かっている。

■欲望に支配されているのが私たち人間。

→欲望を具現化したものが偶像



エペソのアルテミス神像

勧め 恵み エペソ2:4~5

しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、背きの中に死んでいた私たちを、キリストとともに生かしてくださいました。あなたがたが救われたのは恵み*によるのです。

*主の約束に基づく恵み(カリス、ヘセツド)

■メシアは、預言の通りに来られ、救いの御業を成し遂げられた。

救いは神の一方的な愛と恵み



勧め 天上の座 エペソ2:6~7

神はまた、キリスト・イエスにあって、私たちをともによみがえらせ、ともに天上に座らせてくださいました*。

それは、キリスト・イエスにあって私たちに与えられた慈愛によって、この限りなく豊かな恵みを、来たるべき世々に示すためでした。

*神の目にはすでに実現されていること

■福音を信じて、新生した

→私たちはキリストの永遠の生き証人



勧め 神の賜物 エペソ2:8～9

この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物*です。

行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。

*一方的な贈り物。



勧め 良い行い エペソ2:10

実に、私たちは神の作品であって、良い行い*
をするためにキリスト・イエスにあって造ら
れた*のです。神は、私たちが良い行いに歩む
ように、その良い行いをあらかじめ備えてく
ださいました。

*キリストの福音を信じて新しく造られた。

*信仰者の証しになる行為(4～6章)

➔主イエスが示され、
使徒たちが教えたこと



勧め 異邦人 エペソ2:11～21

ですから、思い出してください。あなたがたはかつて、肉においては異邦人*でした。人の手で肉に施された、いわゆる「割礼」を持つ人々からは、無割礼の者*と呼ばれ、そのころは、キリストから遠く離れ、イスラエルの民から除外され、約束の契約については他国人*で、この世にあって望みもなく、神もない者たち*でした。

*異邦人の聖書的定義



エペソの町並み(再現図)

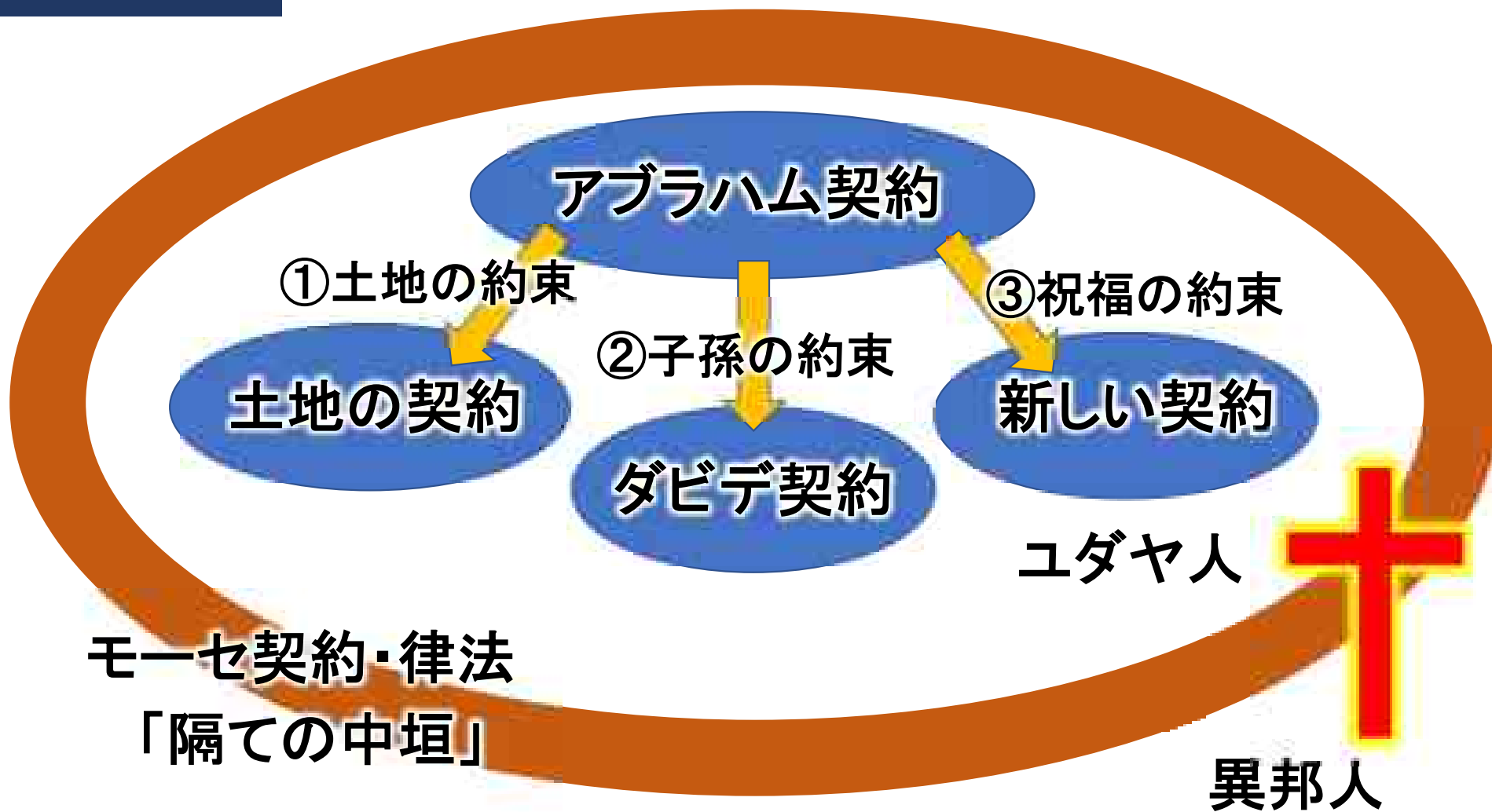
勧め キリストにあって一つ エペソ2:13

しかし、かつては遠く離れていたあなたがたも、
今ではキリスト・イエスにあって、キリストの血
によって近い者となりました。

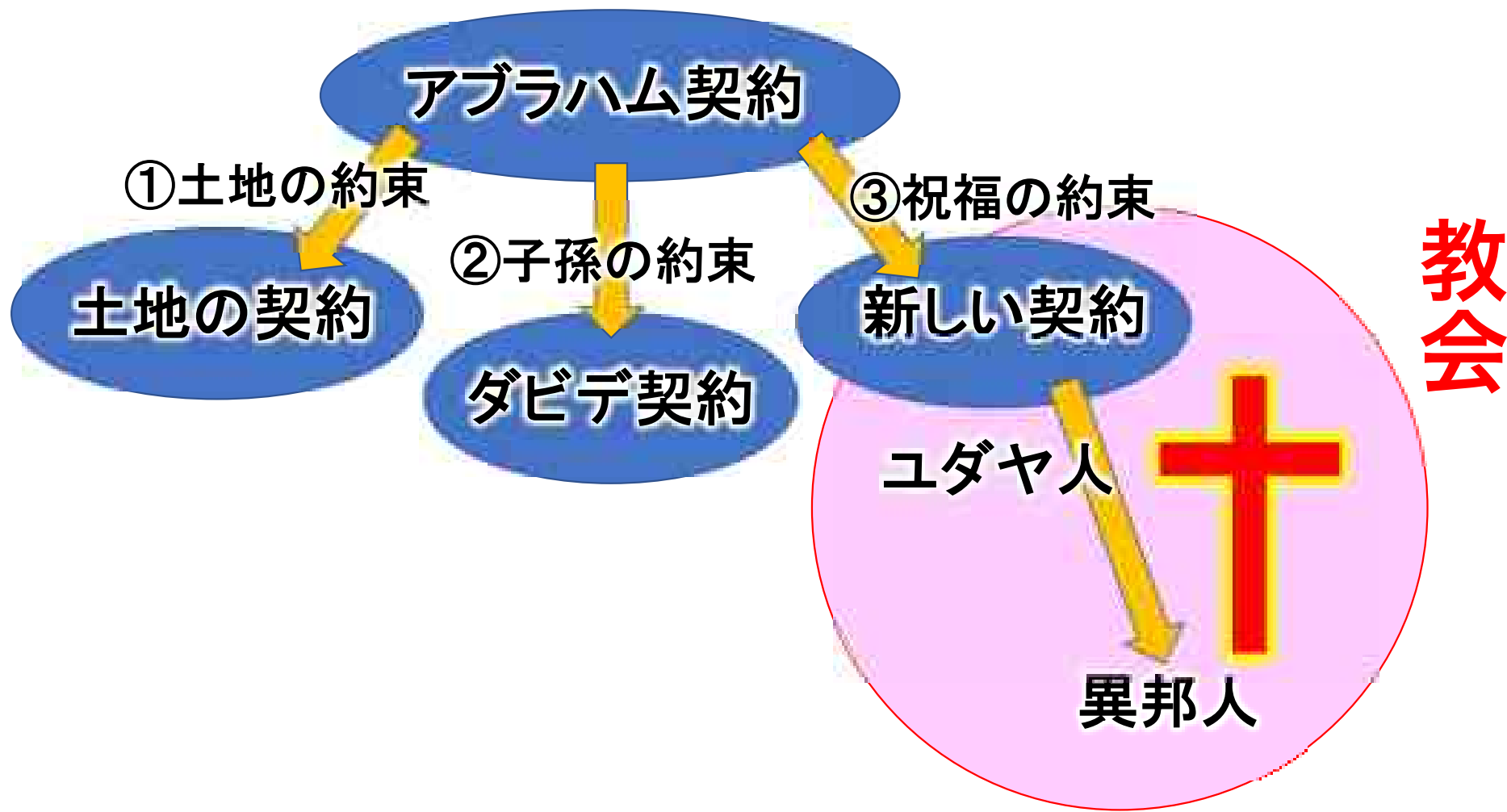
実に、キリストこそ私たちの平和です。キリス
トは私たち二つのものを一つにし、ご自分の肉に
おいて、隔ての壁である敵意を打ち壊し、様々な
規定から成る戒めの律法を廃棄されました。



教会とは？



教会とは？



勧め 新しいひとりの人 エペソ2:15~16

こうしてキリストは、この二つをご自分において**新しい一人***の人に造り上げて平和を実現し、二つのものを一つのからだとして、十字架によって神と和解させ、敵意を十字架によって滅ぼされました。

*キリストのからだ = 普遍的教会



勧め 遠くに 近くに エペソ2:17~18

また、キリストは来て、遠くにいたあなたがた*に平和*を、また近くにいた人々*にも平和*を、福音として伝えられました。

このキリストを通して、私たち二つのものが、一つの御霊によって御父に近づくことができるのです。

*異邦人

*ユダヤ人

*神との平和…神の怒りを免れた状態



神の家族 要の石 エペソ2:19~20

こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、**聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族***なのです。

使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその**要の石**です。

*異邦人に与えられた恵みの最たるもの

基礎は取り替えられない!!



勧め 主の聖なる宮 エペソ2:21~22

このキリストにあって、建物の全体が組み合わされて成長し、**主にある聖なる宮**となります。

あなたがたも、このキリストにあって、ともに築き上げられ、御霊によって**神の御住まい**となるのです。

■ 信者一人一人が主の宮。

➔ 組み合わされて成長する。単独では無理。



Ⅲ. まとめと適用

神の家族の関係性のただ中で

コリントの遺跡

キリストのからだなる教会・まとめ

①設計

…要石：キリスト、土台：使徒・預言者の教え
基礎の上の家屋部分：一人一人の信仰者

②工法

…ユダヤ人、異邦人の一人が福音を信じて救われる。
一人の信仰が成長する。

③用途

…主にある聖なる宮。神の御住まい。
全体が一つの宮。一人一人も宮。

④完成

…信じるべき最後の一人が信じて救われ瞬間(携挙)
→究極的には、新天新地の天のエルサレム

教会は フラクタル構造(相似形)

←小さな部分に全体が
全体に部分が現れている



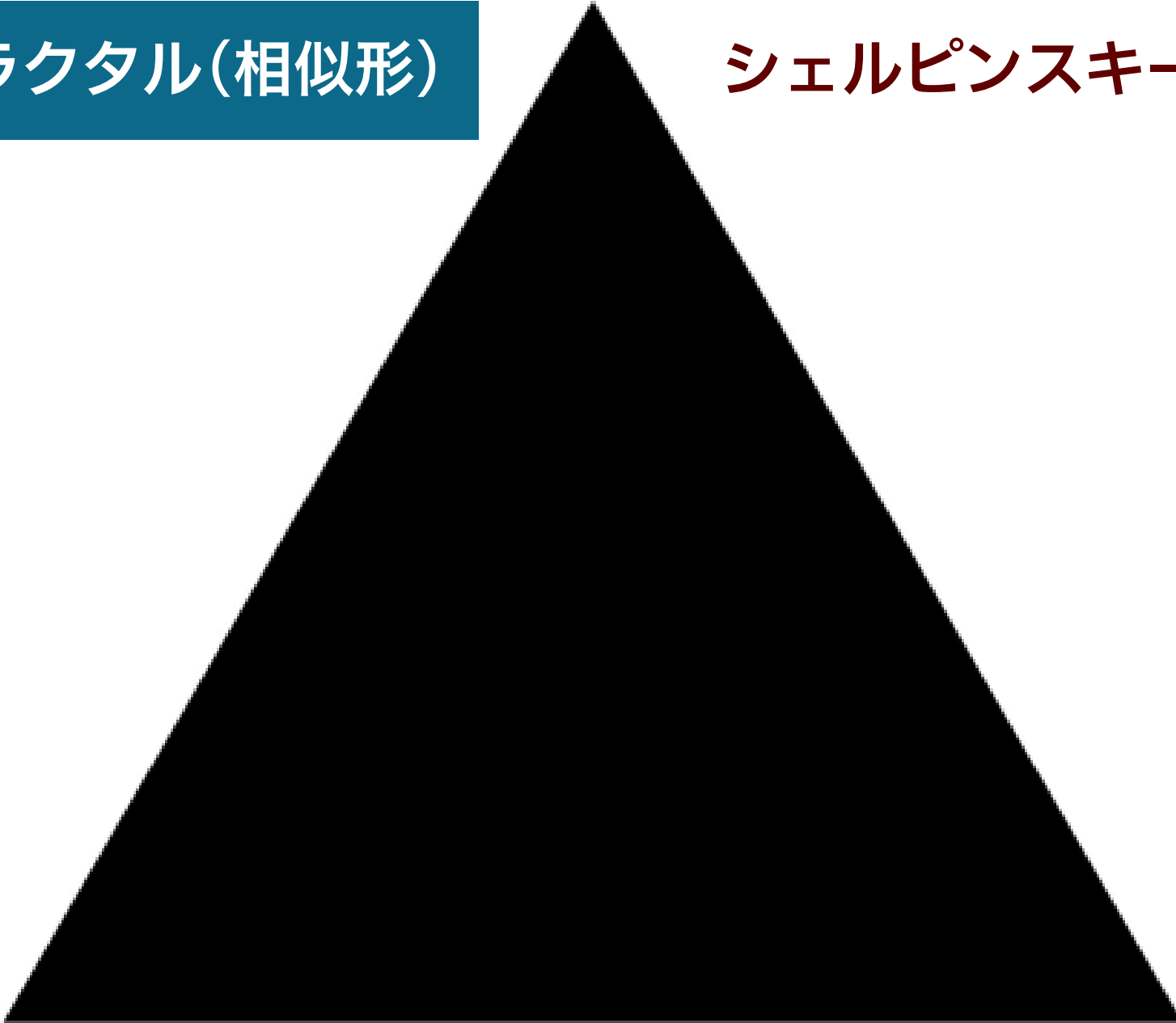
シダ



ロマネスコ

教会はフラクタル(相似形)

シェルピンスキーの三角形



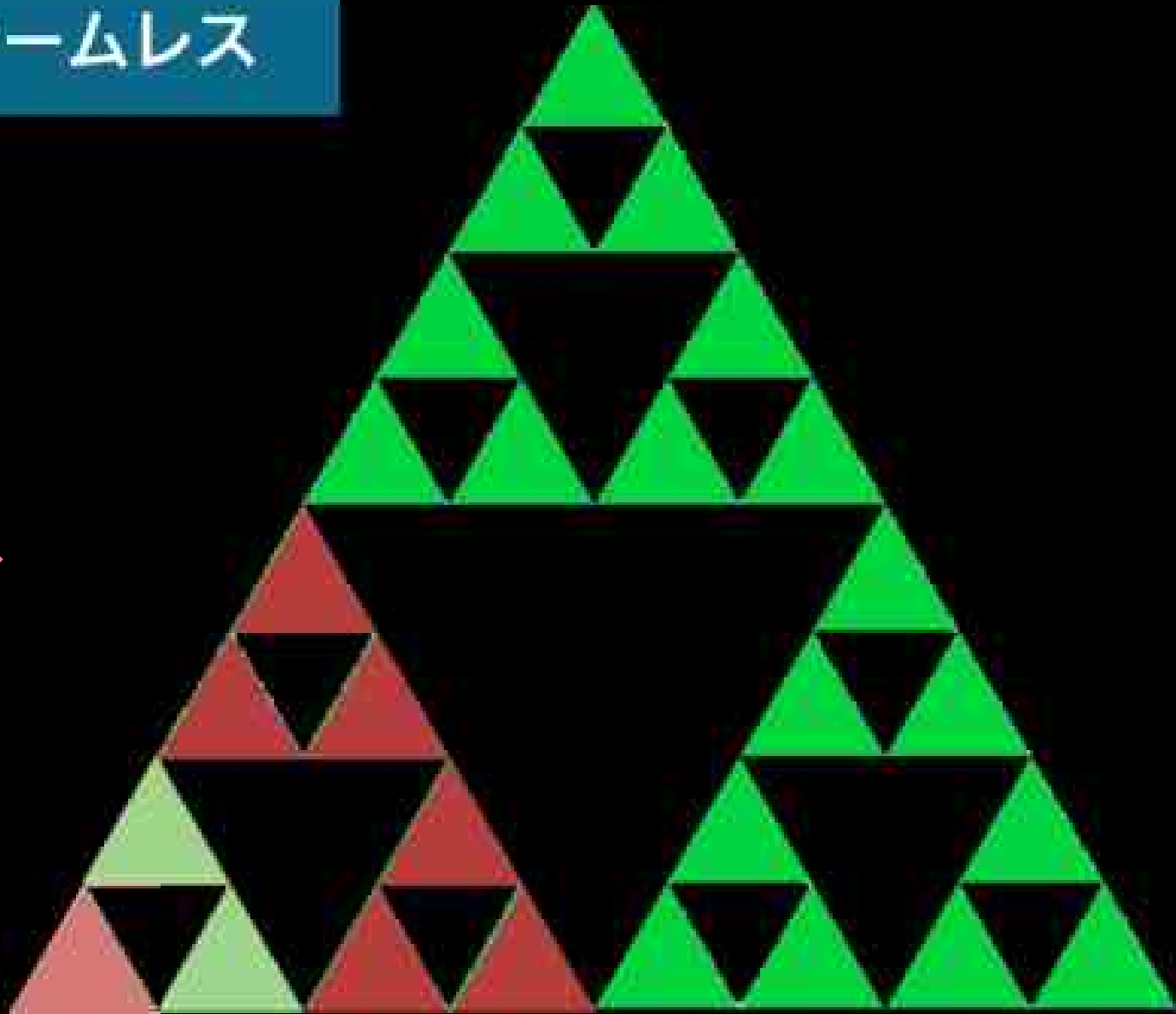
教会はフラクタルでシームレス

普遍的教会 →

地域教会(大) →

地域教会(小) →

一人の信者 →



二つの視点で、教会の成長を考えよう!!

普遍的教会の成長の二つの側面・三つの段階

①一人の人が、福音を信じて救われる(義認)
→一つの建材が加えられる

①伝道

②一人の信者の信仰が成長していく(聖化)
→一つ一つの建材が成長する

②信仰の成長

③普遍的教会の完成 = 携挙 = 栄化

伝道と信仰の成長の2点で、私と私の地域教会は成長しているか？

信者と地域教会の成長のために必要な二つのこと

① 聖書の御言葉の学び

…ヘブラル的視点(本来の文脈・神の意図)に沿った学びの継続
→地域教会で →個人で

② 信者同士の関係性

…顔と顔を合わせた関係性の中で互いの信仰を育まれていく。

→地域教会*につながっていることの大切さ

(○○教会、○○集会、家の教会…etc)

長老の権威の下にあるか？(小さくとも、間接的でも)

■ 学びだけなら、ネットでいくらでもできる時代だが…

信仰が成長していく人は、信者の関係性の中に身を置いている人。

二つの家族を意識しよう!!

- ① **人間の家族** ・ 肉的な家族 …人の関係性の最小単位
- ② **神の家族** ・ 霊的な家族 …真実の関係性の最大単位

聖書では、どちらも「家族」と呼ばれている!!

家族ってなんだろう？

- 人が最も大きな問題を抱えるのは、家族という関係性において。近しい関係性だからこそ、互いの抱える闇にも直面させられる。自分自身の罪さえ手に負えないのに…。
- 家族が家族として成り立つために必須のこと → **主への信頼**
人間中心の価値観の中で、家族が崩壊するのは当然。
- 地域教会は個々の家族の拡大版。抱える問題は当然、大きくなる。地域教会が、家族として成り立つためにも、主への信頼が必須。
 - 一人一人が、神と直結した信仰によって自立していること。
 - 救いの確信があるからこそ、互いに戒め合うこともできる

家族として互いに成長させられてきて

■ いろいろなことを共に乗り越えながら、
とても小さな群れだけど、神の家族として成長させられてきた。

■ 共に歩んで来ることができたのは、
それぞれに、自立した信仰を育まれてきたから。
とにもかくにも自分と他者に偽りなく向き合おうとしてきたから。

■ 繰り返し示され、伝えてきたのは、神と人に偽りのないこと。
弱さも欠けもどうしようもない。つまりきも、打ち砕かれることも。
ただ、そのまま主の前に立てばいい、神の家族と共に歩めばいい。

成長させてくださる主を信頼し、神の家族の関係性に身を置こう

★ 神の家族の関係性の中で ★

■ イッピー十勝の夏キャンプ。与えられた、たくさんの奉仕者。主にピタッと用いられた、個々のすばらしい賜物。奉仕する大人たちに、愛され、見守られ、支えられ、神の家族の関係性の中で、主に育まれたこどもたち。有り余るほどの差し入れ、献金。様々な形の参加と祈り。

■ 神の家族の関係性の中に置かれている強い実感は、これまでになく。自分の欠けは、他の家族が満たしてくれる。主の配剤は最善だ。個人として、一つの小さな地域教会としても、与えられた賜物に、これまでに以上に全力注いでいけばいい。

神の家族の関係性の中で、与えられた使命に力を尽くそう!!

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、^{そむ}罪を^{つみ}重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ}神のみ子^こイエス・キリストが、
つみ あがな じゅうじか し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ

②墓に葬られ、

みつかめ ふっかつ

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

わたし かぞく いちいん めぐ ところ かんしゃ

神の家族の一員とされた恵みに、心から感謝します。

わたし ひとり か おお うつわ しゅもち

私という一人は、欠け多き器にすぎませんが、主が用いてくださいます。

わたし か しゅ はいざい きょうだいしまい み

私の欠けは、主の配剤で、兄弟姉妹によって満たされますから、

あた しゅ しめい ところお ちから そそ もの つか

与えられた主の使命に、心置きなく力を注ぐ者として遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」